

授業科目(ナンバリング)	日本史 (CA214)			担当教員	小泉 優莉菜		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・ 後期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ ラーニング の 類 型
<p>「教養としての歴史」、「知識としての歴史」といった従来の枠組みを超え、土地の歴史やそこに根付いた文化を楽しみ、自発的に学び取ろうとする姿勢を育む。</p> <p>長崎は地理的な関係により様々な歴史の舞台となってきた。日本史を通史として学ぶ中で、それぞれの時代に長崎で起こったことや現在でも残されている遺跡・史跡などについても学ぶ。予習・復習を兼ねて実際に足を運び、歴史を体感しながら学ぶ楽しさを知る。</p>							②⑨
ホスピタリティ を構成する能力	学生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標					評価手段・方法	評価比率
専門力	時代的背景から出現した人物やモノの研究に関心を持つことができる。					小テスト	30%
情報収集、 分析力	歴史資料を読み解く力を養うことができる。					授業態度・授 業参加度	10%
コミュニケーション力							
協働・課題解決 力							
多様性理解力	専門的知識を養い、日本の歴史をより深く理解できる。					定期試験	60%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>評価は期末 60%、授業内レポート 30%、授業態度・授業参加度 10%の配分で行う。定期試験は筆記試験により行い、講義内容を十分に理解できているかを評価基準とする。小テストはその回の授業内容を明確に理解しているか、正確に記述しているかを評価基準とし、ポートフォリオで課題のフィードバックを行う。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>本講義では、日本におけるヒトの出現から昭和（～太平洋戦争終了）までの、その時代を代表する人物や歴史資料に焦点を充てて、歴史を学ぶ。また、長崎と関連する事項についても取り上げていく。授業はパワーポイントを使用した講義形態とする。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とし、紹介する長崎県内の歴史的な遺跡や史跡に実際に足を運ぶことを推奨する。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：特に指定しない。授業時の配布資料。</p> <p>参考書：『詳説 日本史B』山川出版社（2015）</p>							
授 業 外 に お け る 学 修 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と							
<p>授業で学んだ内容は知識として覚えるだけでなく、関連する書籍や資料と触れる機会を持つよう心がけること。また、意欲的かつ真摯な受講態度を要求する。授業中の私語・携帯電話・飲食及び理由のない遅刻・途中退中は認めない。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	シラバスの説明。「乱」「戦」「変」「陣」の違いや、国の文化財指定の違いなど、半期を通して日本史を学ぶ中で重要となってくるキーワードについて解説する。	シラバスを読み込んでおく。
2	旧石器時代	日本文化のあけぼの。旧石器時代の暮らしや道具について概観する。	Keyword について予習・復習を進める。【Keyword】
3	縄文・弥生時代	狩猟・採集の生活から、稲作中心の生活へ日本人の「住」と食の変化を学ぶ。特に日本人の生活様式について概観する。	Keyword について予習・復習を進める。【琵琶湖・淡水の貝塚・稲作集落・環濠集落】
4	古墳時代・飛鳥時代	ヤマト政権の出現と古墳について学ぶ。また、飛鳥時代に入り律令国家が形成された経緯と飛鳥文化についても概観する。	Keyword について予習・復習を進める。【KW: 大和政権・渡来人・近江大津宮】
5	奈良・平安時代	奈良時代の政治と白鳳文化・天平文化について学ぶ。また、平安時代の藤原氏の摂関政治と、遣唐使廃止による国風文化の発展についても学ぶ。	Keyword について予習・復習を進める。【KW: 天平文化・国風文化・律令制・仏教・紫香楽宮・院政・源平】
6	鎌倉時代	源平の合戦で源氏が勝利をおさめ、武士が台頭した。源頼朝が東国に開いた鎌倉幕府と鎌倉仏教について学ぶ。	Keyword について予習・復習を進める。【KW: 守護地頭・御成敗式目・元寇・新たな仏教】
7	南北朝・室町時代	鎌倉幕府終焉後、後醍醐天皇により始められた、建武の新政や、建武の乱で足利尊氏に敗北し、政権崩壊をした時代を主に学ぶ。また、この時代の日明貿易や農村の自治についても概観していく。	Keyword について予習・復習を進める。【KW: 建武の新政・南北朝の乱・農村の自治・倭寇・日明貿易】
8	戦国時代・安土桃山時代	戦国大名だけでなく、庶民や宗教者の動きも活発になった戦国時代・安土桃山時代の大きな出来事として、「鉄砲の伝来」と「キリスト教の伝来」が挙げられる。日本初となるキリスト教の神学校（セミナリオ）が城下町などに設立された。織田・豊臣（いわゆる織豊時代）を中心とした戦国大名たちの動向を学ぶ。	Keyword について予習・復習を進める。【KW: 応仁の乱・一揆・鉄砲伝来・キリスト教伝来・太閤検地・刀狩】
9	江戸時代初期	1603年に徳川家康が征夷大将軍となり江戸開府となった。以降続く250年続く江戸幕府の礎となるこの時代は、初期は戦国の名残の混乱があったものの、様々な政策を施行し揺るぎないものとしていく。家康～5代綱吉により進められた新たな幕藩体制について学習を進める。	Keyword について予習・復習を進める。【KW: 徳川幕府・朝鮮通信使・武家諸法度・鎖国・禁教・参勤交代】
10	江戸時代中期	江戸時代中期は元禄文化が花開き、浮世絵・歌舞伎・俳諧・浄瑠璃などの文化の他、朱子学などの学問も発展した時代である。日本各地でどのような文化が興り、どのように発展していったのかについて学ぶ。また、政治の面では改革や一揆、飢饉などが度々起きた時期でもある。政治史についても同様に学びを深める。	Keyword について予習・復習を進める。【KW: 元禄文化・享保の改革・寛政の改革・公事方御定書・百姓一揆・近江商人】
11	江戸時代後期	幕末の日本は、約250年続けてきた欧米列強との断交を終焉させ、対外的な交渉を余儀なくされた。開国を唱える大名と、攘夷を唱える大名との軋轢が次第に大きくなり、ついには戊辰戦争が勃発する。日本各地の重要な藩の動向と、思想について学びを深める。	Keyword について予習・復習を進める。【KW: 化政文化・異国船打払令・天保の改革・日米和親条約・日米修好通商条約・開国・大政奉還】
12	長崎の安土桃山～江戸末期まで	長崎の特徴豊かな歴史について、特論的に学ぶ。取り上げる予定のものは「社会福祉の魁となった、明治時代のド・ロ神父の社会慈善活動」「明治～大正時代の長崎が世界にどのように紹介されていたか」の2点である。	Keyword について予習・復習を進める。
13	明治時代	明治維新後の日本では欧米列強の影響を受け、急速な近代化を進める。この時代以降、日清戦争のような世界との国際関係が出てくる。「世界の中の日本」というグローバルな視点で日本史を捉える。	Keyword について予習・復習を進める。【KW: 神仏分離・廃仏毀釈・版籍奉還・廃藩置県・学制発布・西南戦争・自由民権運動・大日本帝国憲法・日清戦争】
14	大正時代	大正時代は近代から現代への変り目となった時代である。この授業では、「近代」と「現代」の違いについて解説をする。また、世界大戦や、各国との条約など、様々な面で体外的な政策が求められた時代の日本の対応や、軍国主義に向かった日本の社会風潮についても説明する。	Keyword について予習・復習を進める。【第一次世界大戦・21カ条の要求・パリ講和会議・ベルサイユ講和条約・国際連盟・ワシントン会議・関東大震災】
15	昭和初期	昭和は日本だけでなく、世界中が戦い疲弊した時代でもある。なぜ日本は太平洋戦争に進んだのかについて、当時の内政について解説を加えながら学んでいく。	Keyword について予習・復習を進める。【KW: ロンドン軍縮会議・満州・国際連盟脱退・国家総動員法・日独伊三国軍事同盟条約調印・太平洋戦争・ポツダム宣言・GHQ】
16	定期試験	記述・論述試験	テスト対策